第31回 美浜町民レガッタ

7月1日に、第31回美浜町民レガッタが県立久々子湖漕艇場で開催され、全10種目に172クルーが参加しました。今年は、10月に福井国体・障害者スポーツ大会が開催されることから、日程を前倒しして7月の開催となりました。

大会当日は、時間が経つにつれ風が強くなり、一部のレースが8日に延期となりました。しかし、湖上では、優勝を目指してゴールへ一直線に進むクルーや蛇行しながらも一生懸命ゴールを目指すクルー等、それぞれがレースを楽しんでいました。また、湖岸では応援テントで仲間とバーベキュー等を楽しむ姿が見られました。

大会の結果は次のとおりです。

スーパーシニアの部

気山漕友会

優勝	気山漕友会	2'17"83
2位	ウィ・サーブ号	2'19"94
3位	TEAM KPT	2'34"35
4位	NEL QUEEN	2'37"32

シニアの部

KP-BOOST-8

優勝	KP-BOOST-8	2'19"59
2位	ダワーズスーパーエース	2'23"28
3位	M-NEACE	2'30"76
4位	地域共生　湖猿	2'32"19

ジェントルマンの部

ロッキー

優勝	ロッキー	2'04"34
2位	まきぐちJ	2'05"88
3位	佐田ネクサスSS	2'17"58
4位	NEL JACK	2'30"04
5位	チームTDK3号	2'31"79

スーパーマダムの部

郷市MAX

優勝	郷市MAX	2'45"36

マダムの部

SKE35☆

優勝	SKE35☆	2'42"05
2位	チーム☆全力	2'52"97
3位	ぴちぴちピーチ	2'59"16

レディーの部

にっかぽっか国吉

優勝	にっかぽっか国吉	2'29"85
2位	SR Lady	2'40"04

交流議会議員の部

大津市議会議員 ゆりかもめ

優勝	大津市議会議員 ゆりかもめ	2'29"16
2位	津幡町議会 源平	2'31"69
3位	美浜町議会「三方五湖」	2'32"94

※上記クルーのほか、若狭町議会とおおい町議会からも参加がありました。

小学生の部

ぴちぴちJr

優勝	ぴちぴちJr	4'20"69

ミックスの部

KBEAM みはま

優勝	KBEAM みはま	2'24"65
2位	エイドリアン	2'33"04
3位	しんきん たまるくん	2'33"46
4位	日向燈台クラブ 黒あわび組	2'37"70
5位	NSK	2'58"10

ガッツマンの部

SR2BK

優勝	SR2BK	2'00"42
2位	KP-Evolution	2'02"58
3位	完漕テクノス	2'16"21
4位	Team･takenaka×kanso	2'28"38
5位	元祖ミハマノマンボウ	2'50"26

① 「attention go」で一斉にスタート
② 「チーム☆全力」による選手宣誓
③ 強い日差しの中、ボートを漕ぐ選手たち
④ ゴールに向けてラストスパート
⑤ 選手の応援をするチームのメンバー
⑥ レースの合間はテントでバーベキュー

2018 アジアジュニアボート選手権結果報告および2018 U23・U19世界選手権出場選手激励会を開催しました

■ お問い合わせ先
町美浜創生戦略課
(担当・荒木)
☎32－6715

7月2日に、2018アジアジュニアボート選手権の結果報告と2018U23・U19世界選手権の出場選手激励会が町役場で行われました。

2018アジアジュニアボート選手権は、6月26日から30日にかけて韓国の忠州(チュンジュ)で開催されました。大会には県立美方高校から4名の選手が出場し、大野良太選手が男子舵手無しクォドルプルで優勝、女子ダブルスカルの新田明美選手と女子舵手無しクォドルプルの磴(いしばし)梨菜選手と川村海(まりん)両選手が3位に入賞しました。

↑(左から)川村選手、磴選手、新田選手、大野選手

続いて、U23・U19世界選手権出場選手の激励会が行われました。U23世界選手権は、7月25日からポーランドで開催され、関西電力美浜ボート部の武田匡弘選手が出場します。また、8月8日からチェコで開催されるU19世界選手権には磴選手が出場します。

武田選手は「世界選手権への出場は3回目なので、メダル獲得に向け頑張りたい」と意気込みを話し、磴選手は「アジア選手権では3位という悔しい結果に終わった。世界選手権に向けて合宿等を重ね強くなりたい」と話しました。その後、山口町長から「世界の凄さをぜひ経験してきてほしい。頑張ってください」とエールが送られました。

↑世界選手権に出場する武田選手(左)と磴選手(右)

「関西美浜会」の総会が開催されました

■ お問い合わせ先
・関西美浜会会長
田邉 正義 氏 ☎072－843－9740
・町企画政策課(担当・村上) ☎32－6701

6月17日に、関西美浜会の平成30年度総会並びに懇親会が大阪市内で開催されました。

関西美浜会は、関西圏に住む美浜町出身者によって構成される会で、現在の会員数は73人です。

総会では、昨年度の事業報告と今年度の事業計画について承認され、懇親会では、山口町長と崎元町議会議長が町の現状を報告しました。

山口町長は、9月末から開催される国体・障スポについて、「選手に気持ちよく競技いただくため、花のまちでおもてなしできるよう準備している。また、ボート競技では、天皇杯5連覇を目指したい」と話しました。

また、今年30周年を迎えた美浜・五木ひろしマラソンについても話し、記念碑の除幕等、30周年を記念する各種イベントの報告を行いました。

その後、8月に開催する台湾新北市石門区との姉妹都市提携30周年記念式典について「30年間交流が続いていることは全国的にも珍しい」と話しました。

崎元町議会議長は、企業誘致対策と若者を対象とした住宅施策の現状を報告したほか、町内の保育園では、全国に先駆けて英語の教師を取り入れており、保育園に通園している孫が、家でも積極的に英語を話していると挨拶をされました。

また、佐田伝統文化保存会の中道会長が紹介され、地元佐田の伝統文化の言い伝え集「繙(ひもと)き」の紹介と、佐田地区のニュースがまとめられた動画の放映を行いました。

関西美浜会では、美浜町出身者で、関西圏にお住まいの方を対象に会員を募集しております。会員の高齢化が進み会員数も減少しているので、ご本人をはじめ、ご親戚やご友人がおられましたら、お気軽にご連絡ください。

～JR小浜線は地域の宝物　みんなで乗ろうよ小浜線　切符は美浜駅で買いましょう！～
JR小浜線利用促進助成をご利用ください

今年度も実施！ 夏休み親子旅行助成
夏休み！親子で行ってらっしゃい

対象期間　9月30日(日)まで

対象旅行

美浜駅で発行する切符を購入して、ＪＲ小浜線を利用した親子旅行。

ただし、次のいずれかに該当する場合は、原則として助成対象となりません。

①親子旅行の変更・中止等により切符の払い戻し等を受けた場合

②各地区子ども会等の団体主催による親子旅行

対象者

切符を購入した時点で、次のすべての条件を満たす方

①本町に住所を有する親子。(親子旅行には中学生以下の方が１人以上含まれていること)

※親子とは、子どもの親に限らず祖父母等3親等以内の親族を含む。

②美浜駅または東美浜駅を始点または帰点としたＪＲ切符であること。

③町税等に滞納がないこと。

助成額

購入額の3分の2(限度額10,000円)を助成します。

※助成は、1世帯1回限りとする。(子どもと別世帯の親族とが旅行した場合も１世帯とする)

助成件数

原則として先着20組とします。

申請方法

①美浜駅で切符を購入した際に、美浜駅に備え付けの申請書兼請求書に販売証明を受けてください。

②親子旅行実施後20日以内に町企画政策課へ申請書兼請求書を提出してください。

③申請の際は、行き先の場所が分かるような日付入りの写真を添えて提出してください。

シニア利用者助成

□条　件
美浜駅で小浜線区間を利用する切符を購入した場合

□対象者
町内に住所を有する満65歳以上の方で、町税等に滞納がない方

※特別企画乗車券は対象外となります。

※回数乗車券、団体割引乗車券は下記の助成をご利用ください。

□助成額
購入額の3分の1
※限度額は、1回の購入につき1人あたり1,000円

□申請方法
美浜駅に備え付けの申請書兼請求書に運転免許証または健康保険証の写しを添えて、美浜駅または町企画政策課まで提出してください。

※切符購入の際には、美浜駅窓口にて必ず販売証明を受けてください。

回数乗車券の助成

□条　件
美浜駅で小浜線区間を利用する回数乗車券を購入した場合

□対象者
町内に住所を有する方で、町税等に滞納がない方

□助成額
購入額の10％
※限度額は、1回の購入につき1人あたり1,000円

※その他、団体旅行の助成や学生団体等の助成を実施しています。詳しくは町のホームページをご覧ください。

小浜線利用促進助成　検索

※お問い合わせ先
町企画政策課(担当・石井) ☎32－6701

福井しあわせ元気国体 2018
福井しあわせ元気大会 2018

第73回 国民体育大会／第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

美浜町民総活躍花いっぱい運動を実施しました

6月17日に、花いっぱい運動を国体歓迎公園をはじめ、総合体育館近くの水田や梅街道沿いで行いました。

当日は、国体実行委員や各区・自治会の花いっぱい推進委員等、約130人が参加し、それぞれの場所でコスモスの種をまいたほか、若狭美浜インターチェンジ前のプランター花壇の花の植え替えを行いました。

国体が始まる9月下旬に、満開のコスモスで来会者をお迎えする予定です。

↑美浜町民総活躍花いっぱい運動の参加者

↑若狭美浜インターチェンジ前のプランター花壇の植え替え

↑国体歓迎公園での種まき

都道府県別応援のぼり旗を町民プラザで展示中！

現在、各都道府県を応援するのぼりを、町役場町民プラザで展示しています。こののぼりは、昨年度、町内の各小中学校と県立美方高校、嶺南東特別支援学校、若狭医療福祉専門学校の児童・生徒の皆さんに描いていただいたものです。

各都道府県の特色を生かした色鮮やかな応援のぼりで、どの作品も力作揃いですので、ぜひご覧ください！

↑47都道府県の特徴が描かれた応援のぼり旗

■お問い合わせ先
町美浜創生戦略課 国体推進室内
「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会美浜町実行委員会事務局（担当・今安）
☎32－6715　FAX 32－1115　国体ホームページ http://2018kokutai-mihama.com/

Facebook

夏場に増えるごみの正しい出し方

夏場は気温が高くなることから日常生活も活動的になり、排出されるごみの量も他の月と比べると多くなります。しかし、ごみステーションにごみが正しく出されていないケースが多く見られます。

今月号では、夏場に排出量が特に増えるペットボトル、スプレー缶・ガス缶、生ごみについて、正しいごみ出しのポイントをお知らせします。

その① ペットボトル

ごみステーションに出されたペットボトルの中には、中身が入っているものや、キャップやラベルが取られていないものが多く見られます。

ペットボトルはリサイクルすることで、ペットボトルやトレイ、シャツの繊維、卵パックの原料として再利用できます。リサイクルをスムーズに行うため、ペットボトルを捨てる際は、キャップとラベルを取り、中身を水洗いした上でごみステーションに出しましょう。

↑ごみステーションに出された、キャップやラベルが付いたままのペットボトル

その② スプレー缶・ガス缶

夏場は、野外活動で制汗スプレーやガス缶の使用が増える季節です。

使用後のスプレー缶やガス缶は、ごみ回収・処理時の火災を防ぐため、あらかじめ2ヶ所以上に穴を開けて中身を空にし、一般の金属製燃えないごみとは別にして出すこととなっています。

缶に穴が開いていなかったり、他の金属製燃えないごみと一緒に出したりすると、火災や爆発の恐れがあり非常に危険なため、ルールに従い、気を付けてごみ出しを行いましょう。

↑ガス抜きがされていないスプレー缶・ガス缶

その③ 生ごみ

夏場は冬場に比べ食料品が傷みやすく、生ごみが出やすい季節です。

現在、生ごみは堆肥用生ごみ袋に入れて生ごみ堆肥化施設に搬入されることで、堆肥化（リサイクル）されています。しかし、燃えるごみ袋に生ごみを入れてしまうと、生ごみがリサイクルされないだけでなく、燃えるごみの水分量が多くなるため、ごみを燃やすために余計な燃料が必要になります。

燃えるごみと生ごみはきちんと分別し、また、水分が多い生ごみは十分に水切りをしましょう。

今回挙げたごみは、あくまで一例です。他にもガスコンロや大型の粗大ごみ等、ごみステーションには出せないごみが捨てられていることがあります。今一度ホームページや冊子等でごみの出し方を確認し、正しいごみ出しを心がけましょう。

※お問い合わせ先
町住民環境課（担当・藤村）
☎32－6703

美浜発電所の状況

今回の報告では、6月16日から7月13日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	第25回定期検査中(平成23年5月14日～)

第196回美浜町原子力環境安全監視委員会を開催

6月21日に、第196回美浜町原子力環境安全監視委員会が町役場で開催されました。

今回の委員会では、発電所の周辺環境への影響等に関する福井県原子力環境安全管理協議会の報告のほか、美浜発電所1、2号機の廃止措置や3号機の安全性向上対策工事の状況等について関西電力㈱に、また、平成30年3月28日に廃止措置計画が認可された高速増殖原型炉もんじゅの状況等について日本原子力研究開発機構にそれぞれ説明を求めました。

委員会での主な質疑応答は次のとおりです。

美浜発電所の状況等について（関西電力㈱）

問1 1、2号機廃止措置の残存放射能調査では、放射能測定、試料採取、分析を行うとされているが、配管の切断等を実施して行うのか。

答1 残存放射能調査には、炉内と炉外の調査がある。現在は炉外の調査を行っており、配管等の表面の線量を測定し、分析を行っている。

また、炉内調査では、原子炉容器、炉内構造物の金属について、装置を使って切り取り、分析機関においてどの程度放射化されているか評価し、この評価により、放射能の強さに応じた解体工法と解体手順を検討し実施する。

もんじゅの廃止措置計画等について（日本原子力研究開発機構）

問2 廃止措置の工程の中で、心配されるのは人が関わる事故である。それぞれの工程で予測される事故やトラブルに対応するマニュアルは準備されているのか。

答2 事故やトラブルは大きく2つに分けられる。一つは、燃料体運搬時の落下等の施設の運用に関わる事故、もう一つは、解体作業時の落下や挟まれ、切断等の労働災害がある。

作業にあたり、工程の中にどのような危険が潜んでいるかを事前に予測して、その対策を立てる「リスクアセスメント（※）」という手法があり、現場作業をする前の計画段階で実施し、必要な対策をとった上で作業を行う。

（※）作業の潜在的な危険性等を見つけ出し、これを除去、低減するための手法

本委員会では、今後も国の動向をはじめ、発電所の廃止措置作業等、原子力発電を取り巻く課題や問題等について適宜確認していきます。

山口町長が町議会とともに原子力政策等について国に要請

7月12日に、山口町長は町議会の崎元議長、梅津副議長をはじめ、原子力発電所特別委員会の藤本委員長、川畑副委員長とともに、内閣府や経済産業省、文部科学省、原子力規制庁等に要請活動を行いました。

内閣府や経済産業省、文部科学省に対しては、主に次の項目について要請しました。

↑日本原子力研究開発機構から説明を受ける委員

経済産業省等への要請内容（要旨）

■原子力政策について

①第5次エネルギー基本計画が決定されたが、将来にわたる明確な方針が示されていない。国として、今後とも原子力政策の維持、推進が必要ならば、早期に具体的な政策や工程を示すとともに、立地地域はもとより広く国民へ原子力発電の必要性や重要性について理解を求めていくこと。

②今年5月から各地で説明会を開催し、理解活動を進めている。同様の課題を持つ海外諸国とも連携しながら確実に進めていきたい。（経済産業省）

③国策としてサイクル事業を着実に進めることについてスケジュール感を持って示していきたい。（経済産業省）

④国内外から人が集まる施設、体制を構築することが重要であると考える。平成34年度に詳細な計画を立てる予定であり、それに向けて作業を詰めていきたい。（文部科学省）

⑤立地対策については、地元あっての原子力政策であるため、しっかりと地元の実態に即した支援をさせていただきたい。（経済産業省）

⑥エネルギー教育については、平成33年からの学習指導要領に盛り込む予定であり、きいぱすについても引き続き支援をしていきたい。（文部科学省）

⑦避難道路の整備は必要であると理解している。国土交通省、経済産業省と連携して対応していきたい。（内閣府）

②放射性廃棄物や使用済燃料の処理処分について、国が前面に立って処分場の確保等、早期解決に向けた取り組みを加速化させること。

③核燃料サイクルの意義や重要性等について、国民に丁寧に説明し理解の醸成を図ることはもとより、引き続き核燃料サイクルの着実な推進を図ること。

④「もんじゅ」廃止後に敦賀エリアを原子力・エネルギーの中核的研究開発拠点として整備を進めるとされているが、計画・整備に当たっては美浜町域を考慮すること。

■立地地域対策について

⑤廃炉等に伴い立地地域に大きな影響が生じないよう、これまでの経緯を十分に考慮し交付金制度の維持、地域振興に支援すること。

⑥エネルギー環境教育体験館「きいぱす」をエネルギー基本計画における「エネルギー教育の推進」の拠点施設として位置づけ、本施設の運営に対し、積極的な支援を行うこと。

■原子力防災対策について

⑦住民避難経路の多重化のために「新庄から滋賀県高島市」を結ぶ避難道路を早期に整備すること。

この要請に対し、国からは次のとおり回答がありました。

①原子力発電を活用していく具体的な政策や行程を示すとともに、今後のアクションで国の方向性を示していきたい。（経済産業省）

②今年5月から各地で説明会を開催し、理解活動を進めている。同様の課題を持つ海外諸国とも連携しながら確実に進めていきたい。（経済産業省）

③国策としてサイクル事業を着実に進めることについてスケジュール感を持って示していきたい。（経済産業省）

④国内外から人が集まる施設、体制を構築することが重要であると考える。平成34年度に詳細な計画を立てる予定であり、それに向けて作業を詰めていきたい。（文部科学省）

⑤立地対策については、地元あっての原子力政策であるため、しっかりと地元の実態に即した支援をさせていただきたい。（経済産業省）

⑥エネルギー教育については、平成33年からの学習指導要領に盛り込む予定であり、きいぱすについても引き続き支援をしていきたい。（文部科学省）

⑦避難道路の整備は必要であると理解している。国土交通省、経済産業省と連携して対応していきたい。（内閣府）

原子力規制庁への要請内容（要旨）

①美浜発電所においては多くの工事が並行して実施されるため、安全性確保の観点から、規制機関としての能力向上に努めるとともに、監視体制の充実強化を図ること。

②廃止措置が安全かつ着実に実施できるよう、廃炉に伴い発生する放射性廃棄物の処理処分について、技術基準の確立や法整備を早急に行うこと。

③廃止措置に伴い発生する廃棄物の多くは、一般廃棄物並びにクリアランス物となることから、その再利用が十分に図られるよう、国民に対しクリアランス制度による廃棄物等の安全性について理解を深めるよう取り組むこと。

原子力規制庁に対しては、主に次の項目について要請しました。

↑丹羽文部科学副大臣に要請書を渡す山口町長

この要請に対し、原子力規制庁からは次のとおり回答がありました。

①工事については、原子力特有のものと、一般的なものがあるが、どちらも立地地域の信頼を損なわぬようしっかり監視、指導していきたい。

②放射性廃棄物の処分基準の基本となる法律については、今年10月に施行される予定である。詳細な基準についても具体的な作業に着手している。

③クリアランス制度の認可については、遅延なく手続きを進めていきたい。クリアランスの考え方や基準については、しっかりと説明していきたい。

↑荻野原子力規制庁次長に要請書を渡す山口町長

町では、今後も町議会と連携しながら、原子力発電を取り巻く課題や問題に取り組んでいきます。